

令和5年度沖縄県キャリアセンターにおける就職氷河期世代支援の実施状況

1. 実施概要:

地域就職氷河期世代支援加速化交付金(内閣府)を活用し、沖縄県キャリアセンターに専門相談員を配置し、就職氷河期世代向けの就職相談やセミナー等を実施。

2. 重要業績評価指標(KPI)実績

KPI①沖縄県キャリアセンターにおける就職氷河期世代の相談者数

令和5年度目標値 330 人、令和5年度実績値 408 人

【説明】今年度の新たな取り組みとして、沖縄県立図書館において土曜日や平日の夕方に就職相談会を実施し、またポスティングやラジオ広告などを通じて周知・広報を行うなどにより、相談者を増やすことができた。

KPI②沖縄県キャリアセンターを通じた就職氷河期世代の就職者数

令和5年度目標値 55 人、令和5年度実績値 59 人

【説明】例年、支援後の就職状況を電話調査で確かめてきたが、今年度は同じフロアに入居するハローワークプラザとの連携もあり、就職者の情報を取りこぼしなく把握できたこともあり目標達成となった。

KPI③沖縄県キャリアセンターにおける就職氷河期世代のセミナー参加者数

令和5年度目標値 580 人、令和5年度実績値 903 人

【説明】就職氷河期世代向けセミナーに加えて、一般向けセミナーに氷河期世代の方々が多く参加したことで目標を上回ることとなった。また従来の集合対面形式に加え、前半:セミナー/後半:個別相談形式の特別セミナーを行い参加者数が増加した。

3. 本事業による就業者数

令和5年度、本事業による就業者数は 59 人。

※雇用形態別内訳:

正規雇用 13 人、非正規雇用 25 人、雇用形態不明 21 人

4. 事業の総括

〈実施状況・成果〉

- ・就職氷河期世代向け相談窓口の周知を行うため、チラシの作成配布 20,000 枚、バスシート広告、LINE 広告、Google リスティング広告、ラジオ CM を通じて情報発信を実施した。
- ・相談目標 330 人に対して 408 人、就職目標 55 人に対して 59 人、セミナー参加目標 580 人に対して 903 人となった。

〈課題・令和6年度の展望〉

セミナー参加者数について、一般向けセミナーへの参加者は大幅に増加したものの、氷河期世代対象のセミナーは定員割れも散見された。これについては現在のセミナー内容に物足りなさがあると考えられ、利用者へのアンケートでは自己分析・ストレスマネジメント・仕事選びのポイントや職務経歴書作成の仕方などの内容が希望されている。

以上を踏まえ、令和6年度以降は従来行ってきた就職ハウツーのセミナーに加え、トレンドともいえるリカレント的要素を取り入れた、仕事で求められる能力を磨くような内容のセミナーを新たに実施する。

またキャリアセンター内に留まらず、市町村とも連携した「出張セミナー」等も行い、南部地区だけでなく中北部の氷河期世代に向けての支援も拡充するなど、これまでとは違った切り口をみせることで集客の牽引となるような企画に取り組んでいく。

5. その他(就職氷河期世代活躍促進プラットフォームについて)

- ・沖縄県域における支援プラン及びこれに基づく効果的な支援策のとりまとめ、各種施策の進捗状況を統括することを目的として、沖縄労働局、沖縄県をはじめとする関係行政機関、経済団体、労働団体、支援機関等から構成される「おきなわプラットフォーム」を設置している。
- ・令和4年度は、令和4年7月28日に対面で、令和5年1月に書面で開催し、各機関が実施する事業の進捗状況確認や意見交換を行い、引き続き関係機関が連携して取り組んでいくことを確認している。